

公文式本市場教室 火3~7 時木 2:30~6:30 TEL 61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ http://www.yukiko-kumon.com

2019年

ホームページへGo!→
スマホで教室だよりが見られます



教室だより 10月号

① 公文式は「働く姿勢」に通じる力を育てる

お子さま方が、コツコツと学ぶ姿が頼もしく感じる公文式。この地道な学習が、将来に役立つどんな力を育てていくのでしょうか。今月から「公文式は『働く姿勢』に通じる力を育てる」と題してシリーズでお伝えします。

KUMONでは1962年から、学校や施設に教材と指導法を導入する事業を展開しています。そして2015年、この「公文式導入」の現場における学習効果を検証するための共同研究がスタートしました。学力向上施策として、学校が公文式に取り組むことによって、生徒の学力の向上や学習への取り組み姿勢にどのような効果があるのかを検証することになったのです。この研究では、ある自治体の協力を得て、公文式を導入して10年以上が経つ中学校と、公文式やその他の民間教育を導入していない中学校を対象として、中1・中2・中3のそれぞれ4月に実施したテストで「学習習熟度」と「能力」にスポットをあてて、公文式学習の効果を測定しました。

結果は、学校の学習内容の習熟度を測定した「学習習熟度」と、「能力」の両方において、「公文式を導入している中学校」は公文式学習前の中1の4月の時点では全国平均よりも低く、さらに「公文式を導入していない中学校」とも点数に差がある状態でしたが、中2・中3では、どちらも上回る結果となりました。さて「能力」といってもさまざまな力があります。どんな力がついてきたのか、次回から詳しくお伝えします。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“「ちょうど」の学習”

公文式教材は、いちいち教わらなくても自力で学習できるようにスモールステップで構成され、高校で学習するためにどうしても欠くことのできない内容にしぼり込んでいます。学習の出発は多くの場合、子どもたちは今の学年より下の、楽にできるところから始めます。しばらくすると学年相当に追いつき、その後は学年を越えて、学校ではまだ習っていない内容の問題を自力で解いて進んでいくこととなります。自分の学年より1学年分ほど先へ進んでくると、学校の勉強が楽になり、成績や学習態度がよくなるという成果が現れてきます。さらに2学年先、3学年先へと進んでいくと、子どもの瞳は輝きを増してきます。公文式学習では自力で未知の領域に進み、ときにつまずくことがあっても、それを乗り越えていく体験を積むことで、もっと先へ挑戦したいという意欲が育つのです。

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

10月分の会費引き落としは9月30日(月)です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までに申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願ひます。

*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

本市場教室日□
横割教室日△

2019年 10月の学習日

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 体育の日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

22日(火)は即位礼正殿の儀でお休みとします。

様

*ゆき子の一言コラム

宿題が多すぎると学校の宿題もあり、子どもも大変だと思うのですが？という親御さんにお答えします。宿題無理なくできる量です。大体お渡しするのは、基本的に低学年は一日10ページ、高学年はほとんどが5ページです。

公文で宿題をさせる最大の目的は学力の定着と学習習慣づけが主な目的です。

宿題の量は、お子さまや保護者の方のご意見も伺いながら、一緒に決めさせていただきます。

一日5枚ずつ宿題をする人もいれば、全く宿題をせずにルンルン気分で来る人もいます。

でも、しない子に限って一目瞭然。進度が遅く時間がかかって先になかなか進めません。

すべての子供たちは教室でお勉強するのは好きなのですが、宿題はどの子どもでもやりたくないもの。

でも、お母さんはなるべくたくさん枚数を勉強させたい、その為に親子喧嘩が絶えないとか。

これではいけませんね。習い事も公文のお勉強も、毎日少しずつ積み重ねた方が力はつきます。

また、基本的に教室で学習した宿題をお渡ししますので、保護者の方が一から教える必要もありません。

毎日宿題をしているかどうかを気にしてあげるだけです。そして、全部しっかりやったかの確認をしてください。

また、時間に余裕のある子は、学校の宿題をしている子もいますし、宿題の解らないところもサポートしています。

公文で宿題をさせる最大の目的は、学力の定着と学習習慣づけが主な目的です。単にやらせているわけではないので、親網さんのご協力が大事です。

公文の繰り返し学習は何をするの？

「公文のくりかえして学習させる方法は、脳を刺激して思考力をアップさせ、繰り返し学習することで、脳を活性化するためです。「これ前にやった問題で、簡単だ!」とか、スピードと考える力が付きます。

スポーツで、野球やゴルフ、サッカーなどが上手くなるのに、ランニングや筋トレが抜かせませんが、

この毎日基本的単純なトレーニングをちょっと怠けてしまうと、人によっては上達しないというよりレベルが落ちます。

子どもにとっては、毎日のトレーニングが公文式の繰り返し学習なんです。

公文の学習の基本は「自学自習」です。と言っても当節教えないとなかなか進まないのか実体ですが、公文の教材はスローステップで作成されていて、教えられなくても教材の順に読んで解いてゆけば、自分一人で出来るように配慮されています。ただ当節の子供達はてっとり早く答えだけを教えてもらおうとしますが、公文ではまず、答えの出し方のヒント、問題の解き方の課程でどこが間違っているのかを教えます。本当にわからなくて困っているときや、新しい内容を学習するときはマンツーマンで直感的に理解するまで教えます。そして出来るようになるまで繰り返し練習します。

“同じ内容を何回も繰り返す”

なぜ同じ事を繰り返すのですか?よく聞く質問ですが、ピアノやスポーツクラブのスイミングも繰り返して練習しませんか?これと同じ事なのです。

1回目はやることに必死! 2回目は理解しつつ解いていく。

3回目は自分のペースで解いていく.....

個人差はありますが、この繰り返しによって難解な問題も自分のものとして使いこなせるようになるのです。

小学1年生が足し算に困っていても、大人達はスラスラ出来ますよね。

これは、過去の反復練習の成果です。

確実な学力にと、さらに自分のものにするための反復練習なのです。

「解るのは簡単!出来るのは大変!」なのです。

5枚のプリントを学習するのに、10分で出来る子もいれば30分以上もかかる子もいます。

大人にも言えますが、一つのことを仕事するのにテキパキと1時間で仕上げる人もいれば、2時間以上かかる人もいます。家事も同じことが言えます。

1日は24時間しかありません。やるべき事は早くやってしまっ、その後は、自分のやりたい事に時間を使った方が有効なはず。集中力を増し、作業能力をつけテキパキと学習が出来るように、始める時間と終わった時間を計るので。

すこしは分かってもええましたか?

教室での決まりごと。

①はきものはきちんとそろえよう!

②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう!

③もちものには なまえ をかきましょう!

④でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください!